

RA-S03

# URAネットワークについて考える② ～組織の在り方とそのマネジメント～

## パネリスト

三木 俊克 (工業所有権情報・研修館)

齊藤 卓也 (文部科学省)

阪 彩香 (文部科学省)

丸山 浩平 (東京農工大学)

## ファシリテーター

玉井 克幸 (名古屋大学)

2013年11月18日 (月) 14:45～16:15

京都大学百周年記念ホール

## 本セッションの主旨

URAネットワークに關与するステークホルダーからの意見・期待を聞き、どのような組織とすべきか、また如何にマネジメントすべきかを考える。

# セッションの流れ

- |                    |             |
|--------------------|-------------|
| 1. 主旨説明            | 14:45-14:50 |
| 2. 話題提供            | 14:50-15:30 |
| 三木俊克氏（産学連携の視点から）   |             |
| 齊藤卓也氏（科学行政の視点から）   |             |
| 阪 彩香氏（科学政策研究の視点から） |             |
| 丸山浩平氏（URA実務者の視点から） |             |
| 3. パネルディスカッション     | 15:30-16:15 |

**\*あくまで個人の見解であり、組織の見解を示すものではありません。**

# ディスカッションについて

## 本セッションにおける前提

URAネットワーク組織のステークホルダー  
URA（研究支援人材）研究者、事務系職員  
大学、省庁、ファンディングエージェンシー  
企業、一般社会（市民）

# ディスカッションポイント

- ・ 何のための・誰のためのネットワークか
- ・ どのような組織とすべきか
- ・ どのように作るか